３　情報のしくみづくり

調査等からあげられた課題

・利用しやすいサービス情報の発信
・支援を必要とする人の情報の共有化
・災害時の情報提供体制　など

活動目標

活動目標 1　福祉情報をわかりやすく発信する

○ 難しい言葉や表現を避け、わかりやすい文章で福祉情報を発信する。
○ 目の不自由な人や、文章を読めない人への配慮をする。
○ 外国人や日本語がわからない人への配慮をする。

活動目標 2　福祉情報を入手しやすくする

○ 多様な媒体・機会を活用して福祉情報を入手しやすくする。
○ 身近な場所で福祉情報が入手できるよう商店等へ働きかけ、情報コーナーの設置をすすめる。
○ 必要な福祉情報を入手できるよう、民生委員児童委員や施設等へ相談する。
○ 地域の交流活動やイベント等に参加して、福祉情報を入手する。

活動目標 3　福祉情報の共有化をすすめる

○ 地域で情報交換会や懇談会を開催し、福祉情報の共有化を図る。
○ さまざまな媒体を活用し、団体等の活動情報を発信する。

活動目標 4　災害時の情報提供体制をつくる

○ 災害が起きたときの連絡方法など、情報伝達のしくみをつくる。
○ 災害時の自治会や施設等の協力体制を検討し、情報を共有する。

活動計画

活動目標	活動計画 ＼ 実践・推進主体	市民	活動団体等	商店・企業・事業所等	福祉・保健・教育施設	行政
活動目標 1 福祉情報をわかりやすく発信する	難しい言葉や表現を避け、わかりやすい文章にする		★	★	★	★
	対象者により、ふりがなや、文字を大きくするなど、工夫する		★	★	★	★
	朗読テープや点字など、目の不自由な人への配慮をする		◎	◎	★	★
	外国人や日本語がわからない人への配慮をする		◎	◎	★	★
活動目標 2 福祉情報を入手しやすくする	インターネット、広報紙、情報紙等、多様な媒体で福祉情報を入手しやすくする		★	★	★	★
	身近な場所に福祉情報コーナーを設置する		◎	★	★	★
	必要な福祉情報を入手できるよう民生委員児童委員や施設等へ相談する	★	◎	◎	◎	◎
	地域の交流活動やイベント等に参加して、福祉情報を入手する	★	◎		◎	
活動目標 3 福祉情報の共有化をすすめる	地域で情報交換会や懇談会を開催し、福祉情報の共有化を図る		◎	◎	★	◎
	さまざまな媒体を活用し、団体等の活動情報を発信する		★	◎	★	◎
活動目標 4 災害時の情報提供体制をつくる	災害時の連絡方法を話しあう	★	★	★	★	★
	日頃のつきあいを通して災害時に手助けが必要な方を把握する	★	★	★	★	★
	災害時の自治会や施設等の協力体制を検討し、情報を共有する	○	★	◎	★	★

★＝主体的な活動を期待します　◎＝活動への協働を期待します　○＝活動への参加を期待します

< 社会福祉協議会は･･･ >

■ 福祉情報や地域活動情報を提供する。

■ 広報紙やホームページを活用し、団体等の活動情報の発信を支援する。

■ 市民、サービス利用者等に専門的な福祉情報をわかりやすく提供する。

■ 効果的な情報交換のしくみを検討する。

ボランティア活動の事例

「わたしたちの声を通して、さまざまな情報と心を届けたい」

府中朗読友の会

活動のきっかけ

「朗読ボランティア講習会」受講者募集の呼びかけに応じ、集まったメンバーが立ちあげたのが「府中朗読友の会」です。もう随分昔の話になります。

活 動 内 容

視覚障害者のためにテープ図書を作成し、お届けする活動です。朗読テープはボランティアが自宅で作成し、メンバーが確認したうえで、事務ボランティアが利用者に郵送します。小説から、専門書、週刊誌や時には取扱説明書など利用者の希望に応じたものと、市議会報や社会福祉協議会等の福祉情報まで、朗読テープを作成しています。また、勉強会や研修会で朗読の技術向上に努めています。

今後にむけて

現在は、カセットテープからＣＤの時代となり、朗読テープもデージー図書（デジタル音声情報システム）に変わりつつあります。ボランティアもそのための勉強を開始し、利用者のご要望に応えられるようがんばっています。これからも、視覚障害者の方たちとの交流を密にしながら、同じ市民として生活支援や情報提供ができるよう、活動をすすめていきたいと思っています。

第5章